



常陽中 だより

令和元年 12月 10日

尼崎市立常陽中学校

校長 徳山 壮一

14

マラソン大会 迫る!!



常陽中学校の秋

12月2日(月)朝礼。
1979年(昭和54年)公共広告機構(現在のACジャパン)が作った映像を紹介しました。映像の主人公は、君原健二さんという1960年から1970年前半まで活躍した日本が誇るマラソンランナーです。

君原さんの偉大さは、マラソン日本代表として、1964年東京オリンピック、1968年メキシコオリンピック、1972年ミュンヘンオリンピックと3大会連続で出場し、メキシコオリンピックでは銀メダルに輝く偉業を成し遂げた事はもちろんのこと、出場した全ての大会において一度も棄権することなく最後まで走りきっているという平凡な事実です。映像の中で君原さんは、『私は苦しくなると、よくやめたくなんです。そんな時、あの街角まで、あの電柱まで、あと100mだけ走ろう、そう自分に言い聞かせながら走るんです。肝心なのは最後まであきらめないことだ。』と語っています。マラソン大会。しんどいです。苦しいです。その時に、この言葉を思い出しながら頑張ってください。特にマラソンが苦手な人・嫌いな人にはなおさらこの言葉を胸に頑張ってください。逃げたり、手を抜いたり、あきらめたりすることは簡単です。でも君達には、最後まであきらめずに精一杯自分の力を発揮して頑張ってください。順位なんて関係ありません。人と比較する必要はありません。自分との



闘いです。みんなで励まし合って、自分との闘いに打ち克って下さい。やり遂げることができれば自信にもなりますしきっと自分を変えることができますと思います。また、君原さんは、『私はマラソンを楽しい、おもしろいと感じたことはな

かった。競技者としてのマラソンは、つらいものでしかなかった。走るのがつらくなると私は目標を小さくする。ゴールまでは遠すぎる。だから、とりあえず、「あと5キロ頑張ろう。」と自分に言い聞かせる。それでもつらければ、「あと1キロ頑張ろう。」「あの電柱まで頑張ろう。」と目標を身近なところにおいて走った。』と語っています。このことは、マラソンだけでなく、学習・受験・人生など全てのことに通じることだと思います。しんどくなったり、つらくなったりすると手を抜いたり、あきらめたり、投げやりになったりすることはよくあります。そんな時には、君原さんのこの言葉を思い出してほしいと思います。「あと1日。あと1時間。あと1ページ。あと1問。」と目標を身近なところにおいて少しずつでもいいから前に進んでいきましょう。前に進んでさえいれば必ずゴールに到達します。必ず夢・目標が叶います。マラソン大会を通じて常陽中学校の生徒の皆さんに「あきらめないことの大切さ」を頭だけでなく心と体で学んでほしいと願っています。

日時 12月23日(月) ご声援よろしくお願いします。

女子スタート 9:30 男子スタート 9:40

場所 武庫川河川敷(尼崎側) 甲武橋以南~JR以北

個人懇談会お願いします!

12月13日(金)から個人懇談会が始まります。保護者の皆様には、お忙しいところ誠に申し訳ありませんが、ご協力のほどよろしくお願いします。3年生にとっては、進路決定の大切な懇談となります。事前に家庭で時間をかけて将来のことについて話をしておいて下さい。

1・2年生は、今学期をしっかりと振り返り、頑張れたところ、頑張れなかったところを確認して、令和2年度が充実した日々となるよう3学期に向けての目標を考えましょう。



チーム常陽の活躍

令和元年度全国中学生人権作文コンテスト尼崎大会

入選 石田 善也 「障害のある人に関する問題について」

石川 花音 「ほんの少しの勇気」

令和元年度中学生・高校生の「税の作文」

兵庫県納税貯蓄組合総連合会 会長賞

高松 一誠 「国民を支える大黒柱」

尼崎納税貯蓄組合連合会 会長賞

松本 紗直 「税金とわたしたちの暮らし」

森 鈴杏 「税について」



兵庫県中学校新人大会

【バドミントン部】

団体戦 祝 第3位

【柔道部】

団体戦 2回戦敗退



尼崎市中学校軟式野球1年生トロフィー争奪大会 祝 優勝



第8回武庫之荘駅前
ロータリー祭り出演



今月の言葉

『無駄に終わる努力などあり得ない。』

『努力の成果なんて目に見えない。』

しかし、紙一重の薄さも重なれば本の厚さになる。』

12月2日 朝礼

校長講話より